令和８年(2026年)10月28日

報道関係　各位

真庭市役所

【情報提供】

国際交流事業

真庭市内高校とイタリアの高校との交流活動

日時▶令和８年 11 月４日（水）～25 日（水）
場所▶真庭市内高校・小中学校・こども園・事業所ほか

イタリア中部ウンブリア州の高校生３名が、真庭市に短期留学で訪れます。市内高校での授業参加のほか、市内小中学校やこども園での交流活動も行います。

また、11 月９日に開催される「水源の里シンポジウム」に参加し登壇、イタリア国内有数の水源の里でもあるウンブリア州の取組を発表します。

子どもたちの未来を拓く夢あるチャレンジとして、取り上げていただきたいと思います。

つきましては、ぜひとも報道・取材くださいますようお願いいたします。

概要▶

１．日　時　令和８年 11 月４日（水）～25 日（水）
２．場　所　真庭高校・勝山高校・勝山高校蒜山校地・市内小中学校・こども園　ほか
３．スケジュール　※別紙をご覧ください
４．内　容　※別紙をご覧ください

お問い合わせ先▶
まにわ・しめ山プロジェクト（担当　吉原）
TEL　080-5006-8389
発信元▶
共生社会推進課（担当　尾﨑）
TEL　0867-42-1017

2026年短期ステイ〔11月〕・日程案

		11月4日	11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	11月15日
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
生徒		岡山⇒真庭 9:30到着 10:00 真庭高校 11:30 市役所 13:50 勝山高校	障がい者支援施設 見学 10:00 真庭高校 授業見学	高齢者施設 見学 10:00 勝山高校 12:55～ 授業見学＆プレゼンリハ	蒜山ワイナリー ジャージーランド ハービル 等	神庭の滝 三浦邸 町並み保存地区	水源の里 シンポジウム	13:00 まにくるーん	9:40 川上小学校 11:00 蒜山中学校 13:30 川上小学校	9:30 北房こども園 10:40 北房小学校 13:25 北房中学校	9:30 湯原こども園 10:10 湯原小学校 14:30 湯原中学校	学習発表会 やさしい日本語教室	神社等 午後オフ
生徒滞在先		富乃亭											
引率		富乃亭										真庭発	日本発

【学校行事】

勝山高校								球技大会	休		球技大会(予備)	学校説明会・土学	
真庭高校								防災訓練	アグリマーケット				

【生徒氏名】

- **Beatrice RAGNI （名：ベアトリーチェ　姓：ラーニ）**
- **Benedetta BIRIBAO （名：ベネデッタ　姓：ビリバオ）**
- **Serena RETINI （名：セレーナ　姓：レティーニ）**

引率教諭

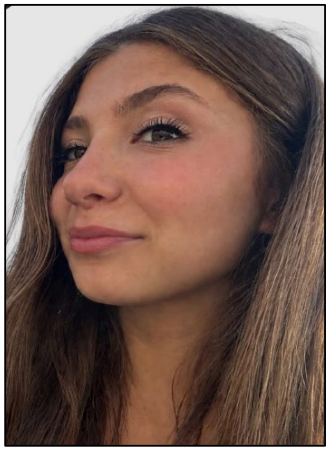
- **Maya PELLICCIARI（名：マヤ　姓：ペッリッチャーリ）**



Beatrice RAGNI(17)



Benedetta BIRIBAO(17)



Serena RETINI(17)

		11月16日	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日	11月22日	11月23日	11月24日	11月25日	11月26日	11月27日	11月28日
		月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土
生徒		勝山高校				蒜山校地	白梅祭見学	ホストファミリー交流	ホストファミリー交流	勝山高校		真庭発		日本発
生徒滞在先		ホームステイ												
引率														

【学校行事】

勝山高校													土学
真庭高校		白梅祭準備	白梅祭準備	白梅祭準備	白梅祭	白梅祭				休			

試験週間（部活なし）

真庭市内高校とイタリアの高校との交流活動について

真庭市内の県立高校・真庭高校、勝山高校（蒜山校地含む）では、令和 3 年からイタリア中部ウンブリア州（州都ペルージャ）の高校とオンラインでのミーティングや、先方生徒の短期留学受け入れ（令和 4 年に 1 名、令和 6 年に 2 名、令和 7 年に 3 名）等の交流活動を行ってきた。

送り出すイタリア側は、EU 圏内の高校生の国際交流活動や留学のサポートを行う「EGInA（European Grants International Academy）」という団体が資金面も含めた支援を行っており、一方で真庭市においては落合地域の民間活動団体が市内における滞在や交流活動のサポートを行ってきた。

もともとのきっかけは、ペルージャ外国人大学の日本語講師/東城健志氏が真庭を訪れた際、地域活動団体との交流の中で、「イタリアの高校生は日本の文化に強い興味を持っており、定期的に州内の高校で日本語のクラスを受け持っている」という話が出たこと。そこから高校生同士のオンライン交流を行ったことが出発点となっている。

いままでは、その日本文化への興味をきっかけに日本語を学んでいる日本語クラスの生徒を、主にコミュニケーション活動を主眼に受け入れていたが、今年からは、両国の教育制度の違いの発見、相互理解を深められるよう、より実学（授業や実習への参加）に軸足を置いたカリキュラムを計画している。

また、今年度は市が共催として主体的にバックアップしていくとともに地域の高校の魅力化に向けた支援体制を整えている。

市内高校での授業・実習参加のほか、市内こども園や小学校での交流活動も行い、市内の子どもたちの海外への興味や外国語の学びに対するきっかけづくりも図る予定。

また、真庭市において開催される「全国水源の里シンポジウム」にも、初の海外からの参加者としてウンブリア州の高校生、学校関係者が来真の予定であり、今後も地域全体としての交流活動がより深化していくことが期待される。

この活動について、イタリア文化会館は、高校だけではなく幼稚園～小学校～中学校まですべての子ども世代との交流活動を行っていること、民間団体がサポートしていることを高く評価している。